

1. 災害時における協定団体やボランティアなどを平常時に体制整備を

第五次開成町総合計画では、災害への対応力を強化するため、民間企業や各種団体との災害時の応援協定の締結を進めます。とあります。具体的には町が災害に見舞われた時に、協定を結んだ団体などやボランティアのスムーズな受け入れによって、様々な支援が必要な町民に平等に行き渡るようにするためと考えます。そのためには、定期的に協定を結んでいる企業、団体やボランティアなどと、町民が一体となって防災訓練が行うことが重要であると考えます。

併せて、災害時の広域的なボランティア活動が定着しつつある今、災害ボランティアセンターを設置した上での運営訓練も必要です。また、受け入れる側の町役場として、災害対応業務の内容も調査検討しながら、担い手を内外に目を向けて確保できる体制づくりをしておくことが必要不可欠です。

- ① 災害時における協定書などを結んでいる団体等との訓練を充実させることも必要と考えるが見解は。
- ② 災害ボランティアセンターの設置運営の防災訓練も必要と考えるが見解は。